

大泉

「人は学ぶ」

「人は変わる」

「人は輝く」

3月号

令和6年3月8日

発行者 新村 紀昭

編集 相川 直綱

残り姿

年度末を迎えて

三寒四温といいますが、校庭の梅の花も咲き始めました。いよいよ3月を迎え、カウントダウンカレンダーが掲示されている学級も見受けられます。

さて、日本語には美しい表現がたくさんありますが、「残り姿」という言葉を聞いたことがありますか。

「残り姿」とは、「外界の刺激によって変わる、その時どきの心の持ちよう」「終わった後の姿」「その場からいなくなった後の姿」を感じることを言います。「その場にいた人々の心が想像できる、気持ちの良い姿」のこととして使われます。

例えば、学校では、毎日皆さんが帰った後の「教室」や「下駄箱」でこの「残り姿」を感じることができます。皆さんが帰宅した後の「教室」で、窓がきちんと閉められている、机や椅子がビシッとそろっている、ロッカーもきれいに整理されている、黒板も磨き上げられて、明日の日付と日直名まで書いてあるという風景。「下駄箱」では、上履きが乱れずにきれいにそろって並んでいるという風景。そのような風景をみることができた時、「今日もしっかりした学校生活を過ごし、学習活動ができていたのだな」と感じることができます。これは、とても気持ちのよい「残り姿」です。

学校には、日々このような「残り姿」が校内のあちらこちらにあると言われますが、もっと深く、大きな後ろ姿もあります。それは、3月の卒業式や修了式が終わった後の学校の中です。ここには深くて大きい「残り姿」がたくさんみられます。掲示物がはずされ、荷物もなく、掃除が行き届いた教室。誰もいない、机と椅子だけになった空間です。しかし、いつものように教室に行き、教壇に立つと、様々な「残り姿」を先生方は感じる事がで

きるのです。少なくとも一年間、共に学び、生活した「深くて、大きな残り姿」です。この一年間に起きた出来事の数々、あの時の笑顔、あの時の涙。新しい生徒を待つ「何もない教室」ですが、皆さんの「残り姿」は確かにあるのです。

さらに、学校には、とても深く、もっと大きな「残り姿」があります。正門から見える校舎正面の校章、昇降口へと続く通路、中庭の小道など、卒業して10年後、20年後に学校を訪れると、様々な「残り姿」が「思い出」となって感じられるのではないのでしょうか。

皆さん一人一人の毎日の「残り姿」が、学校の「校風」となり「伝統」となっていきます。だからこそ、「校風」や「伝統」は学校ごとに違うのです。皆さんも上級学校訪問や進路相談で他校や高校などに行って、その学校独特の雰囲気、「校風」を感じた人もいたことでしょう。

皆さんが呼んでいる「大中プライド」も、過去の先輩方の日々の「残り姿」が積み重なり「校風」となったものであり、「校風」がさらに積み重なることによって、それが「伝統」となるのです。

1年間の締めくくりの時期になりました。iPad や iPhone で有名なアップル社のティム・クック CEO (最高経営責任者) は、「われわれが出会った時の世界よりも、さらに良いものになった世界を残したい」と発言しています。この言葉も「残り姿」に通じるものがあると思いますが、皆さんはどう感じますか。

この1か月、どのような「残り姿」をこの教室に、校舎に残すことができるのか、この時期だからこそ、皆さんそれぞれが考え、行動してほしいと願います。

(3月全校朝礼講話)

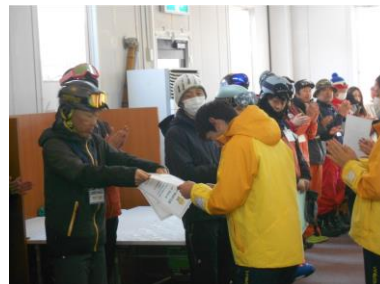
保護者・地域の皆様、一年間大過なく終えることができそうです。これまで、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

生徒の成長を感じた移動教室＜10組＞

スキー移動教室担当 上條 優人

まず、無事故で怪我なく、無事に行事を終えることができたことが何よりだと思っています。インストラクターの先生方にもよく生徒のことを配慮していただき、教員側も非常に助かりました。生徒からは、「最初はけがをしたり失敗したりしないか心配だったけど、先生たちのていねいな教え方でだんだんと安心できた。」という声が多く聞かれました。行事の担当者として、一番にスキーを楽しんでもらえたことがうれしく感じます。そして、閉講式においては、本校の生徒が司会と4校代表のお礼の言葉の役割を担いました。元気よく4校生徒全員に聞こえる立派な声で話してくれました。事前に何度も休み時間に練習をしてきたので、当日は非常に感動しました。

また、宿舎での生活では、学年を超えて互いに協力しあうことができました。例えば、後輩が先輩からスキーウェアの正しい保管の仕方を教わったり、後輩は先輩の分の布団を敷くのを手伝ったりしていました。レクリエーションの「ジャンボ百人一首」においても、楽しみながらも真剣に取り組んで目を輝かせている生徒の姿が印象的でした。



大泉中生のがんばり

第69回青少年読書感想文東京都コンクール	最優秀賞	笠原美礼
第69回青少年読書感想文全国コンクール中学校の部	入選賞	
第13回こどもエコ・コンクール中学生部門	入選	加藤 快
令和5年度 全国中学生人権作文コンテスト練馬区大会	入選	安藤 詩乃
	入選	糸魚川 明音
	入選	小林 さくら
	入選	寺澤 瑠生
	入選	仲居 杏奈
	入選	長沼 亜佐美
	入選	西田 愛加
	入選	藤原 麗乃
	入選	舩川 琴子
	入選	山下 華鳳
	入選	吉村 優花
第9回東京都吹奏楽新人大会 特別部門	金賞	吹奏楽部
第57回東京都中学校アンサンブルコンテスト	銀賞	吹奏楽部
練馬区教育委員会児童生徒表彰		廣瀬 広人
練馬区教育委員会児童生徒表彰		向井 昊
JAPAN CUP 2023	第10位	滝本 美星
チアリーディング日本選手権大会		福島 希美
第73回東京都公立学校美術展覧会（家庭科）出展		佐々木 杏州
第73回東京都公立学校美術展覧会（家庭科）出展		瀬間 依吹
第73回東京都公立学校美術展覧会（美術科）出展		大貫 みらい
第73回東京都公立学校美術展覧会（技術科）出展		藤田 結衣

